

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 健康科学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 後 期	単位数	必修・ 選択等
1 健康科学演習	研究所、企業、臨床（医師、臨床心理士）での実務経験を踏まえ、健康科学科専門科目の基礎知識について解説し、演習を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 太田久吉 ※ 清和成 ※ 内藤由紀子 ※ 伊与亨 ※ 数田十司 ※ 大場謙一 ※ 古川隼士 ※ 片桐裕史 ※ 深瀬裕子 ※ 市倉加奈子 ※ 亀井樹 ※	1	後期	1 単位	必修
2 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原宏文 ※ まどか ※ 北里耕亮 ※ 北里一郎 ※ 森孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山弘子 ※ 吉田一成 ※ 洪賢秀 ※ 柴喜崇 ※ 渋谷明隆 ※ 油谷和子 ※ 石田浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	選択
3 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤智夫 ※ 岩村正嗣 ※ 宮岡等 ※ 渡邊昌彦 ※ 坂東由紀 ※ 厚田幸一郎 ※ 有田悦子 ※ 吉田一成 ※ 渋谷明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永篤彦 ※ 五味勉 ※ 油谷和子 ※ 渡邊達也 ※	1	後期	1 単位	必修
4 解剖学実習	病院での臨床経験を踏まえ、予防医学上で必要とされる人体の構造と機能に関する知識を重点的に教授する。	門谷 裕一	門谷裕一 ※ 小畑秀一 ※ 田口明子 ※ 林徹 ※ 木村武俊 ※	2	前期	1 単位	必修
5 生理学Ⅱ	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究成果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋仁 ※ 濱田幸恵 ※	2	前期	2 単位	必修
6 生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋仁 ※ 秋田久直 ※ 緒形雅則 ※ 小島史章 ※ 濱田幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 健康科学科〕

	科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
7	病理学	大学での医療技術者としての経験を踏まえ、医療における病理学の意義及び実際の病理診断がどのように展開されるのかを概説する。	土屋 紅緒	土屋 紅緒 ※	2	前期	2 単位	必修
8	生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究結果が人体を理解する上でどのように役立っているかを概説する。	市川 尊文	市川 尊文 ※ 市川 文貴 ※ 川島 麗達 ※ 前川 達則	2	前期	2 単位	必修
9	生化学実習	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、人体を構成する成分がどのように分析されるかを概説する。	前川 達則	前川 達則 ※ 市川 尊文 ※ 川島 文貴 ※ 川島 麗達 ※ 松尾 純孝	2	前期	1 単位	必修
10	公衆衛生学 I	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性試験や水質試験の概要を説明する。政府機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	2	前期	2 単位	必修
11	公衆衛生学 II	研究機関での経験を踏まえ、生活習慣病予防活動を具体的に概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	2	後期	2 単位	必修
12	労働衛生学 I	企業における労働衛生管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）の実務経験を基に産業職場における労働衛生の基礎知識について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 大場 謙一 ※ 藪田 十司 ※	2	前期	2 単位	必修
13	分析化学 I	研究機関での有害物質の分析（定性・定量）の経験を踏まえて、分析上の具体的な注意点などを含めて、講義を行う。	藪田 十司	小野真理子 ※	2	前期	2 単位	必修
14	微生物学	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験及び政府機関の専門家として短期派遣された、ネパールの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえて、各種微生物の性質や臨床的重要性を講義する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 清 和成 ※ 亀井 樹 ※	2	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 健康科学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
15 微生物学実習	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験を踏まえて、各種微生物の取り扱い手技を指導する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	後期	1 単位	必修
16 血液学	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における検査の意義や治療法などについて概説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※ 渡邊真理子 ※	2	前期	2 単位	必修
17 食品衛生学	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性試験の概要を説明する。政府機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、糞便汚染指標微生物検査を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 ※	2	後期	2 単位	必修
18 放射線科学	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射性同位元素の取扱い、計測、利用及び安全管理を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※	2	後期	2 単位	必修
19 免疫学	病院・検診センター・研究所での検査や検体処置を含む実務経験を踏まえて、各論について各種病態における免疫の意義と役割について概説する。	久保 誠	久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	2	後期	2 単位	必修
20 作業環境管理学 I	企業における経験を基に、職場の作業環境管理に関する有害化学物質の作業環境測定、調査理論について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※	2	後期	2 単位	必修
21 環境衛生学 I	政府機関の専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際について概説する。	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	前期	2 単位	必修
22 精神保健学（精神疾患とその治療）	職場メンタルヘルス活動、臨床（医師、臨床心理士）での実務経験を踏まえ、メンタルヘルスや精神障害の実際に基づいた講義を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 深瀬 裕子 ※ 市倉加奈子 ※ 佐藤 浩信 ※	2	前期	2 単位	必修
23 労働衛生学 II	鉄鋼産業、自動車産業又は化学工業、電気産業での労働安全衛生管理の実務経験を踏まえて、労働安全衛生管理の意義及び企業で実際に行われている労働安全衛生管理について概説する。	大場 謙一	太田 久吉 ※ 大場 謙一 ※ 安福 慎一 ※ 加藤 隆康 ※	3	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 健康科学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
24 検査学総論	医師、臨床検査技師としての実務経験を踏まえて、臨床検査について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ 鉢村 和男 ※ 狩野 有作 ※ 大谷 慎一 ※ 窪田 幸介 ※ 川岸 加奈 ※	3	後期	2 単位	必修
25 労働生理学	企業における経験を基に、職場における働く人々の生理機能を理解し、職場環境条件、各種要因による健康影響の理解と対策について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 大場 謙一	3	前期	2 単位	必修
26 リスク管理学	企業における経験を基に、産業職場で取り扱われる化学物質のリスク評価の基礎的理解について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 栗田 衆一郎 ※	3	後期	2 単位	必修
27 放射線科学実習	病院及び研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに放射線安全管理の経験を踏まえて、放射線の取り扱い、計測、安全管理に関わる実習を行う。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 橋本 成世 ※	3	前期	1 単位	必修
28 保健栄養学	企業における経験及び管理栄養士としての経験を基に、健康確保増進に関する栄養学的な基礎知識について講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 田村須美子	3	後期	2 単位	必修
29 医療統計学	企業における経験を基に、医学、看護学領域で取り扱う基礎統計学について講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※	3	前期	2 単位	必修
30 食品衛生法規	研究機関での経験を踏まえて、医薬品の承認申請の経験を踏まえ、手続きの流れ等を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 片桐 裕史	3	前期	2 単位	選択
31 作業環境評価・労働衛生工学	労働衛生機関での測定の評価の経験、研究機関での排気装置等の設計の経験を踏まえて、評価法の意義及び排気装置の設計値と実測値の違いなど、より実践的な講義を行う。	藪田 十司	藪田 十司 ※ 小嶋 純 ※	3	後期	2 単位	選択
32 産業カウンセリング	産業カウンセラー、産業医としての実務経験を踏まえて、産業・組織心理学、産業カウンセリングについて解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 佐藤 和彦 ※	3	前期	2 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 健康科学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
33 サステナビリティ学入門	政府機関の専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際とSDGs達成に向けた具体について概説する。	清 和成	清 和成 ※	3	前期	2 単位	選択
34 発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	3	前期	2 単位	自由
35 労働行政	公的機関での実務経験を基に、職場における健康・安全に関するルールや労働条件等の基礎的知識を講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 飛鳥 滋 ※ 吉松 美貞 ※	3	後期	2 単位	必修
36 作業環境管理学Ⅰ演習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（主にデザイン）のより実践的な内容（現場で落ちやすい過ち、デザインの着眼点）を演習に含めて行う。	藪田 十司	藪田 十司 ※	3	前期	2 単位	必修
37 作業環境管理学Ⅰ実習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（主にデザイン・サンプリング）の有害物と測定機器の選択方法やデザインの着眼点等の内容を含めて、実習を展開する。	藪田 十司	藪田 十司 ※ 太田 久吉 ※ 大場 謙一 ※ 横山 辰巳 ※	3	前期	1 単位	必修
38 産業衛生管理学	企業における経験を基に、産業衛生管理の実施上必要な専門的基礎知識を講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※ 大場 謙一 ※ 高橋香代子 ※ 加藤 隆康 ※ 山田比路史 ※ 安福 慎一 ※ 浅見 聡 ※	3	前期	2 単位	必修
39 産業衛生管理学実習	企業や公的機関における経験を基に、働く人々の健康を保持増進するための方法論を実習を通して教授する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※ 大場 謙一 ※ 消防署救命救急士 ※ 中災防トレーナー ※	3	前期	1 単位	必修
40 薬理・毒性学	研究機関で経験した医薬品の安全性試験・薬理試験を踏まえ、開発の流れを概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 小島 史章	3	後期	2 単位	選択
41 健康食品学	研究機関での経験を踏まえ、食品成分の機能解析の具体例を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 片桐 裕史	3	前期	2 単位	選択
42 健康食品学実習	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性・機能性研究の経験を基に、研究の進め方を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 片桐 裕史	3	後期	1 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 健康科学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
43 作業環境管理学Ⅱ	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（主にサンプリング）の測定機器の特性や測定機器の選択方法等の内容を講義する。	藪田 十司	藪田 十司 ※	3	前期	2 単位	選択
44 作業環境管理学Ⅱ 演習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定の評価の意義や評価結果からの環境状態の状況を判断する目安等の内容を演習を含めて行う。	藪田 十司	藪田 十司 ※	3	後期	2 単位	選択
45 作業環境管理学Ⅱ 実習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（デザイン、サンプリング、評価、分析）のより実践的、より現実的な内容を含めて実習を展開する。	藪田 十司	藪田 十司 ※ 太田 久吉 大場 謙一	3	後期	1 単位	選択
46 臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	3	前期	2 単位	選択
47 臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	3	後期	2 単位	選択
48 精神保健学実習	研究所、企業（人事・労務・健康管理、メンタルヘルズ相談）、臨床（医師、臨床心理士、精神科PSW）での実務経験を踏まえ、地域・職場におけるメンタルヘルズ活動について解説し、実習を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 深瀬 裕子 ※ 佐藤 浩信 ※ 稗田 里香 ※ 伊藤 美季 ※ 佐々木 良枝 ※ 對木 博一 ※	3	後期	1 単位	選択
49 公衆衛生学特論	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性・機能性研究の経験をもとに、研究の進め方を概説する。政府機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境微生物に関して研究指導する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 研究委員	4	通年	6 単位	選択
50 衛生管理学特論	企業における経験を基に、産業保健関連の実験、調査研究に関して研究指導を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※ 大場 謙一 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	選択
51 精神保健学特論	職場メンタルヘルズ活動、臨床（医師、臨床心理士）での実務経験を踏まえ、関連する研究テーマについては、精神医学や臨床心理学の実際に基づいた研究指導を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 深瀬 裕子 ※ 市倉加奈子 ※ 佐藤 浩信 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 健康科学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
52 環境衛生学特論	政府機関の専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、関連のある卒業研究テーマについては、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際に基づいた研究指導を行う。	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 研究委員	4	通年	6 単位	選択
53 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
54 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
55 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように活かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城 良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
56 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
57 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
58 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 健康科学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
59 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
60 生体信号計測概論	企業での機器開発経験をふまえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						121 単位	